

結果報告

第28回日本神経内視鏡学会
2021年11月18日(木)~19日(金)
ウインクあいち
ブース No.10

展示商品

NIBS-Es神経内視鏡手術器具	ローテータブル鉗子
フレキシブル鋭匙鉗子	マリアブル回転型鑷子 他

ランチョンセミナー

講演:理想の道具をもとめて — 手術機器開発の経験から得られたもの —
演者:渡邊 督先生(愛知医科大学)
座長:岡 秀宏先生(北里大学メディカルセンター)

■ 総評

本会は、WEBとの連動で開催され参加者総数:約1400名(内、現地参加者350名)と神経内視鏡手術をメインとされている多くの先生方が現地参加をされました。
弊社共催ランチョンセミナーの演者である渡邊先生からは、NIBS-Es手術器具の開発経緯も踏まえた製品特性を講演して頂きましたが、その反響もあり展示ブースへ来られた先生方と活発な意見交換ができました。
また、ハンズオンセミナーでは、これからの治療としての神経内視鏡手術を学びに来られた中堅～若手の医師が、弊社・神経内視鏡器械を駆使し講師の医師と意見交換が行われ、全体を通じて今後の脳神経外科を担っていく神経内視鏡手術が感じられた学会でした。

■ 展示ブース



ミズホブースにお越しいただき、誠にありがとうございました